



# 高輪だより

令和3年度 6月号  
港区立高輪幼稚園  
園長 柿沼 敦子

## 体験を通して感覚や感性を磨く

園長 柿沼 敦子

紫陽花が例年よりも早く咲き始め、街に彩りを加え始めました。

先日、保護者の方からうれしいお話を聞きました。

「この間、子どもとヨモギ団子を作ったのです。去年は、お団子の形が丸くならなかったけれど、今年は、きれいな丸いお団子ができるようになって、成長を感じました」というお知らせでした。お母さんが子どもの成長を実感し、その喜びを教えてくださいました。幼稚園での経験が生きているということも伝えてくださいました。1年間の小さな挑戦の積み重ねにより手や指の動きが発達し、感覚や集中力が備わったのでしょう。また、それとともに「季節」や「旬」の味を感じる体験や食育をご家庭でされていることに感激しました。ひと昔前、幼稚園でもヨモギ摘みに出かけ、ヨモギ団子を作って食す体験をしていました。「すり鉢とすりこぎでヨモギをすり潰し、団子の粉と混ぜ合わせ、手の中でクルクルと丸め、それを茹でて作る」という手間暇かけた作業を幼児が体験しました。甘いきな粉をかけて春の味を味わったものです。ヨモギは、土手や公園など身近な場所にも群生していましたが、今は身近に無くなり、アレルギー等々のことで、幼稚園で食することが難しくなっていました。



今の子どもたちは、生まれた時からデジタル環境に囲まれたデジタルネイティブ世代です。だからこそ、人格形成の基礎である幼児期に、手間も暇もかけて十分に遊び込むことの必要性を感じます。直接的な体験を通して感覚や感性が磨かれていくと改めて思います。今年度も、各学年の発達に応じて、土づくりから体験する夏野菜の栽培が始まりました。土の感触を味わい、土や葉の匂いを感じ、幼虫の発見に心躍らせた原風景、原体験は、きっと大人になっても忘れないことでしょう。夏、植えた野菜が実り、子どもたちがその美味しさを味わう日を楽しみにしています。

わくわく ぽかぽか  
みんなえがおの  
たかなわようちえん



3歳児「マイクロトマトさん、  
おおきくなってね」



4歳児「やさいのために  
やわらかいつちをつくらう！」



5歳児「ソラマメ、いっぱいできた！  
あした、たべてみようね」

## <今月の指導のねらい>

### 3歳児

- ・新しい遊び(簡単な体を動かす遊び、絵の具、水遊びなど)に興味をもち楽しさを感じる。
- ・簡単な身の回りのこと(衣服の着脱、遊具の片付け、手洗いなど)をしようとし、できたうれしさを感じる。
- ・身近な自然(栽培物、飼育物、虫など)に興味をもって見たり、触れたりして遊ぶ。

### 4歳児

- ・身近な素材(紙、空き箱、ロール芯など)で作ったものを使って、繰り返し遊ぶ楽しさを味わう
- ・教師のきっかけをもとに、友達と関わる中で、その楽しさや一緒に遊ぶ面白さを感じる。
- ・栽培物の世話をしながら、変化に気付いたり生長を喜んだりする。

### 5歳児

- ・友達と遊びの目的を一緒にしながら遊ぶ楽しさを味わう。
- ・学級で決めた「幼稚園の役に立つこと」の活動に意欲的に取り組み、役に立つ嬉しさを感じる。
- ・栽培物、飼育物に進んで関わり、変化に気付いたり、世話をしたりしながら、生長を喜ぶ。

